

■ 支部だより ■	
------------------	--

関東・甲・信・静支部のうごき

1. 平成2年度関東・甲・信・静支部会議

平成2年度支部会議は、9月20・21日の両日、東京都内の全国市町村共済組合「番町グリーンパレス」において、当支部の全13機関より所長等28名が出席して開催された。支部長挨拶の後、開催機関の北東京都環境科学研究所長の挨拶があり、支部長が議長を務め会議が進められた。会議の概要は次のとおり。

- (1) 平成元年度、2年度の支部運営及び事業について、支部長より説明があり承認された。
- (2) 全国公害研協議会の動静について
平成元年度の経過及び2年度の計画について支部長より説明があった。
- (3) 全国公害研協議会長表彰、同感謝状候補者の推薦及び支部長表彰実施細目(案)等について
 - ア 会長表彰、同感謝状候補者の推薦
当支部より会長表彰候補者4名、感謝状候補者4名を推薦した旨支部長より報告があった。
 - イ 支部規約の改正
支部長表彰制度の導入等に伴う支部規約の改正が支部長より提案され承認された。
 - ウ 支部長表彰実施細目(案)
支部長表彰実施細目(案)について支部長より提案があったが、選考基準(勤務年数等)、表彰に伴う費用等が議論され、継続審議となった。
- (4) 各専門部会の報告
大気専門部会、水質専門部会、騒音振動専門部会、水質専門部会東京湾連絡会の各部会長等より、今年度の事業の概要が報告された。
- (5) 支部役員の改選について
次期(平成3、4年度)支部長は千葉県水質保全研究所の小関所長に、副支部長は横浜市公害研究所の森田所長と埼玉県公害センターの中野所長にお願いすることになった。
- (6) 支部会議及び各専門部会の開催地について
平成3年度支部会議の開催は、千葉県水質保全研究所にお願いすることになり、各専門部会は申し合わせのローテーションどおり、大気専門部会は群馬県、水質専門部会は山梨県、騒音振動専門部会は神奈川県で開催されることが確認された。
- (7) その他 全公研常任理事である東京都環境科学研究所の北所長より全公研会誌第15巻3号の内

容について説明があった。翌日は、下町風俗資料館と寛永寺を見学した。最後に、本会議開催にあたりご尽力いただいた東京都環境科学研究所の北所長はじめ職員の皆様に感謝申し上げます。

(関東・甲・信・静支部長 小関 勇一)

2. 水質専門部会会議

平成2年度の水質専門部会会議は、9月27・28日の両日、静岡市内駿府城近くの静岡県職員会館もくせい会館において、42名が出席して開催された。

会議は静岡県衛生環境センターの伊藤所長の挨拶で始められ、部会長の山梨県衛生公害研究所長の挨拶、出席者の自己紹介の後、部会長が議長となり議事を進めた。

研究発表は、河川、湖沼、海域の水質に関するもの5題、分析法に関するもの4題、化学物質に関するもの2題、その他1題の計12題であり、各機関が取り組んでいる最新のテーマが主であり啓発されることが多かった。特に農業分析に多くの関心が寄せられ、各自治体ともこの問題に苦勞していることが察せられた。なお、来年度は山梨県で開催することとなった。

翌日は県地震防災センターを見学して震度7の揺れを体験した。そのあと、登呂遺跡、芹沢美術館を見学し、12軒の住宅と2棟の倉庫、8haの水田跡からなる登呂遺跡では、手作りの農具しかない当時の農民の労働の厳しさがしのばれた。最後に、会議の開催にあたりお世話いただいた静岡県衛生環境センターの皆様にも厚くお礼申し上げます。

(山梨県衛生公害研究所長 名取 早苗)

3. 騒音振動専門部会会議

平成2年度の騒音振動部会会議は、7月5・6日の両日、川崎市民プラザにおいて開催された。

会議は、部会長の福満川崎市公害研究所長及び支部長県の山崎長野県衛生公害研究所大気部長からのあいさつのあと、7題の研究発表があった。騒音に関するもの4題、振動に関するもの3題の模型実験、実態調査、評価法等の内容で、討議も活発に行われて大変有意義な会議であった。また、道路交通振動研究連絡会から2年間の成果の報告があった。

2日目は東名高速道路の防音壁及び東芝科学館を見学した。なお、次期の会議開催は神奈川県で行われることが確認された。(川崎市公害研究所長 福満 博視)